

大高定時便



大村高校
定時制

2学期は目標を持って行動を

八月二十五日(木)に第二学期の始業式が視聴覚室で行われました。



学年	科目	単元	学習目標	評価	備考
高一	英語	スピーキング	英語で自分の考えを伝えることができるようになる。	スピーキングテスト	
高二	英語	リーディング	英語の長文を読み、内容を理解することができる。	リーディングテスト	
高三	英語	ライティング	英語で自分の考えをまとめることができるようになる。	ライティングテスト	
高一	数学	数と式	数と式の関係を理解し、問題を解決することができる。	数と式テスト	
高二	数学	図形	図形の性質を理解し、問題を解決することができる。	図形テスト	
高三	数学	確率	確率の概念を理解し、問題を解決することができる。	確率テスト	
高一	理科	物質	物質の性質を理解し、実験を行うことができる。	物質テスト	
高二	理科	生命	生命の仕組みを理解し、実験を行うことができる。	生命テスト	
高三	理科	地球	地球の仕組みを理解し、実験を行うことができる。	地球テスト	
高一	社会	政治	政治の仕組みを理解し、意見を述べる能力を養う。	政治テスト	
高二	社会	経済	経済の仕組みを理解し、問題を解決することができる。	経済テスト	
高三	社会	文化	文化の発展を理解し、文化を創造することができる。	文化テスト	

原 昌紀校長が出張されていたので、烏山末義教頭が代わりに、お話をされました。「アメリカのメジャーリーグで活躍している大谷翔平選手は、高校一年の冬に、目標達成シートを作成した。二年後の大目標として「ドラフト、8球団」(緑色の枠を設定した)。これを実現するために、さらに八つの「中目標」(黄色の枠を設定した)。その中目標の一つに「運」を掲げ、「あいさつ」「ゴミ拾い」「部屋の掃除」などをこれらを通じて「部室の掃除」などを「運」に含めたいという「メンタル」では、「はっきりとした目標・目的を持つ」「雰囲気は流されない」「仲間を思いやる心」「気分を波を作らない」など十六歳の時に掲げた目標を、大人になっても実行している。アメリカの球場でゴミを拾う大谷選手は有名である。君たちも自分ができることを、一つでもいいから見つけて実行し、そして継続して欲しい。

今、君たちがやるべき大きな目標は「定時制卒業」である。そのためには、絶対に卒業するという強いメンタルを持つこと。そして毎日登校し、アルバイト等で規則正しい生活をし、就労で得た資金を元に、免許や資格を取得して欲しい。これにより様々な可能性が増え、進路選択の幅も広がってくる。定時制卒業という目標を過ごして、これからは、しっかりと学校生活を過ごして欲しいから、しっかりと、二学期はたくさんさんの行事が予定されている。生徒会を中心に、みんなで協力して盛り上げて欲しい」と話されました。

平和学習

八月九日(火)本館五階、視聴覚室において平和学習が行われました。今年の平和学習は、中国出身で学術博士の何 雲艶(カ ウンエン)先生を講師にお招きし、「私から見た長崎の原爆投下と平和教育」という演題で、講演をしていただきました。

最初に出身地である中国福建省武夷山の麓にある建陽市について、写真と動画で紹介がありました。その後、クイズを交えながら、日本是世界唯一の戦争被爆国だが、日本人だけが唯一の被爆国民ではない。捕虜となっていた多くの外国の人も原爆で亡くなっている。自国の立場だけにとらわれず、他国の立場も受け入れることが大切で、これからもっと深く学んで欲しいと締めくくりました。

講演後、生徒を代表して三年生の西村暢晃さんが「原爆についてまだたくさん知らないことがあることがわかりました。他国から見た平和教育を聞くことができるとも良い経験となりました。」とお礼の言葉を述べました。



平和人権宣言

今年二月二十四日にロシア軍によるウクライナ侵攻が開始されました。今もなお罪のない市民の命や日常が奪われ続けています。かつて、ロシア人の文豪トルストイは「他者を威嚇して自分中心に考えることは許されない」という趣旨の反戦を訴えましました。現在、ロシアは世界で最も強力な核保有国のひとつです。

もしロシアが核兵器を使用することになれば、私たち人類はこれからも、地球を汚染し、人類を破滅させます。核兵器がもたらす危険についても一人ひとりが声を上げ、世界を変えるべき時がきているのではないのでしょうか。

「長崎を最後の被爆地に」この言葉を、長崎から世界中の皆さんに届けます。広島が「最初の被爆地」という事実によって永遠に歴史に記されるのであれば、長崎が「最後の被爆地」として歴史に刻まれ続けるかどうかは、私たちがつくっていく未来によって決まります。

この言葉に込められているのは、「世界中の誰にも、二度と、同じ体験をさせない」という被爆者の変わらぬ決意であり、核兵器禁止条約に込められた明確な目標であり、私たち一人ひとりが持ち続けるべき希望なのです。この言葉を世界の皆さんと共有し、核兵器のない世界に向かう確かな道にいきましょう。

私たち大村高校定時制の生徒は、平和を希求する日本国民として、核や戦争、命の尊さについて学び、絶えず核廃絶の声を上げることを誓い、これを平和人権宣言とします。

令和四年八月九日

長崎県立大村高等学校

定時制生徒会

性教育講話

九月六日(火)に長崎医療センター助産師 坂本 早苗先生(他三名)をお招きして「知って欲しい性のお話」と題して講話をしていただきました。

寸劇・実演・イラストや写真を多く示しながら、「いろいろなラブの形」「二性感染症について知ろう」「三、今妊娠しないために」の内容で、約一時間のお話でした。また、各グループに分かれて実演指導も行き、生徒たちは真剣な眼差しで、興味深く耳を傾けていました。

生徒を代表して、四年大嶋美羽さんが「今、生きている命がすべて奇跡で、大切な存在だとわかりました。自分も相手も大切に、良い関係をつくり、生まれてくる命に、責任がもてる大人になりたいと思います。」とお礼の言葉を述べました。



消費者教育講座

九月七日(水)に消費者教育講座が視聴覚室で行われました。これは家庭科の授業として、二・三年合同の講座でした。講師は長崎県消費生活センターの大坪辰也先生で、「めざそう！賢い消費者」と題してお話をいただきました。

成年年齢の引き下げに伴い「親権者の同意を得ず、一人で有効な契約を結ぶこと」や「女性の婚姻開始年齢が十六歳から十八歳に変わる」ことなどを学びました。

また、最近、多い消費トラブルは「ネットによる通信販売トラブル」で、特に注意が必要であると言われました。騙だまされたこととは恥ずかしいことだが、自分で解決しようとしてしないで、ぜひ消費生活センターに相談して欲しいと呼びかけて、講話を締めくくりました。



生徒の感想

- ・思っていたよりも色々な消費問題があった。自分たちができることは何か? こういうときにどうすればいいのが配慮や解決方法を知ることができた。
- ・買い物をする時に、価格や品質だけでなく、その服が環境に優しいか、生産者との公正な取引がされているかなど、心がけようとも思った。
- ・詐欺にあったら、必ず誰かに相談しようと思えました。
- ・知らないことがたくさんあって、色々な勉強ができて、とてもよかったですと思いました。

認知症サポーター講座

九月二十八日(水)に認知症サポーター講座が視聴覚室で行われました。これも家庭科の授業として、二・三年合同の講座でした。講師は大村市長寿介介護課包括支援センターの寺島ひろみ様と井手聡美様の二名でした。

認知症の人と接するときの心構えとして、

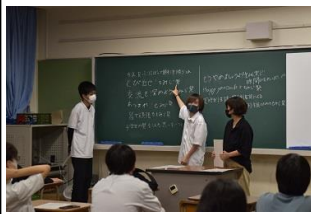
- ①驚かせない
- ②急がせない
- ③自尊心を傷つけない

など、動画を使って具体的にわかりやすく説明されました。生徒たちは、認知症について熱心に学び、自尊心を傷つけないための言葉遣いや対応などを理解しました。講座を受講した生徒全員に「認知症サポーターカード」が渡されました。



もみじ祭実行委員会

九月十三日(火)放課後に、第二回実行委員会が行われました。今年の実行委員長に四年宮垣未凜斗さんが選ばれました。また、今年のテーマは「定時制生徒の定時制生徒による定時制生徒のための もみじ祭」に決まりました。十月二十八日(金)の「もみじ祭」は、全員で協力し盛り上げて行きましょう。



最後の教室共用

定時制の教室には、まだエアコンが設置されていない。そのため毎年七月から全日制の教室を借りて授業を行っている。つまり全日制と定時制が同じ教室を使う教室共用が行われている。

本年度の計画では、七月四日(月)から九月九日(金)までの期間であった。九月十二日(月)は定時制の教室で授業を行ったが、異常な暑さと多湿で生徒も教師も疲れてしまった。

このままでは、生徒も教師も熱中症で体調を崩すと判断し、急遽きゅうきよよ、教室共用の延長を全日制の第一学年にお願した。急な申し出をしたにもかかわらず、快く対応していただいたことに、生徒および教職員はとても感謝していた。



今年の異常な暑さで共用期間が長くなったが、全日制の各クラスの雰囲気を感じながら、授業ができたことは、生徒にとってはいい思い出になったと思う。

十月には定時制の教室にもエアコン設置の工事が始まる。新年度からは、これまで以上に、授業に集中でき、学習効率が高まることを期待したい。

教室共用は、今年で最後となったが、全日制の生徒及び関係教職員の皆様にお礼を申し上げます。

長年にわたり、ご協力ありがとうございました。

つぶやき

新学期がはじまり、何となく重苦しいと感じる日が多くなった。年のせいであるかも知れないが、曜日や休日明けは、仕事や学校に行きたくないと感じる人は少なくない。この感じ方はストレスと関係があるようで、以下、日経ビジネス電子版から「良いストレス」と「悪いストレス」の一部抜粋したものを紹介したい。

「何かをやり遂げようという目標をもっていた時、新しいことへの挑戦は、必ずストレスを伴います。しかし、目標に向って頑張ろうとする意欲や気持ちの高まりは、やりがいとなってエネルギーに変わっていきます。たとえそれがうまくいかなかったとしても「何が足りなかったのだろうか」「どうしてそうだったのか」「この出来事の意味は、今後、成功させるために何を物語るのだろうか」といった感じ方や考え方は、その人の学習効果となり、自己成長をしていく手段に変わります。

「良いストレス」とは、このように自分を高めていく過程に、良い刺激となって関わっていきます。一方、「悪いストレス」とは、辛い状況のなかでも「やらなくてはならない」「頑張り続けなくてはならない」と自分を強制的に追い込み、自らの意思とは無関係に、過剰行動を続けた延長線に生じるストレスです。その状態を続けていくことで、心は悲鳴をあげ、やがて、そのサインが身体に表れます(身体化)。

(就職試験が九月十六日(金)から始まりました。生徒は試験前に面接の練習を何度も行い、試験に臨んでいるが、なかなかうまく話せない。最後の難関が教頭面接である。極度の緊張から、練習の成果を発揮できず、落ち込む生徒も少なくない。生徒にはかなりのストレスに違いない。しかし、これらは「新しいことへの挑戦、乗り越えなければならぬ壁」である。そのことをしっかりと認識し、事前準備と自身のセリルスポイントをしっかりと伝え、合格(内定)を勝ち取って欲しいと思う。

これからの主な行事

- 中間考査 十月 六日(木) ~ 十二日(水)
- 答案返却 十三日(木)
- 短縮授業 二十一日(金) ~ 二十五日(火)
- もみじ祭予定 二十六日(水)
- もみじ祭会場設営 二十七日(木)
- もみじ祭 二十八日(金)